



京都大学医生物学研究所

「ウイルス学の潮流セミナー」 2025

演者： **長谷川秀樹** Hideki Hasegawa 先生
国立感染症研究所 インフルエンザ研究センター長

演題：「粘膜免疫を活用した次世代インフルエンザ
ワクチンの開発」

日時：2025年 9月 8日（月）16:30～17:30

場所：京都大学医生物学研究所 3号館 3階 セミナー室
3F Seminar room , Bldg. #3 of Institute for Life and Medical Sciences (LiMe)
(開催言語：日本語 Language: Japanese)

講演内容： インフルエンザウイルスは抗原変異により従来型ワクチンの効果が低下する。粘膜免疫、特に上気道における分泌型IgAは、感染初期段階でウイルス侵入を阻止し、抗原的に変異した株に対しても交叉防御を発揮する。本講演では、経鼻不活化インフルエンザワクチンによる粘膜免疫誘導のメカニズム、動物実験・臨床研究の成果、さらに次世代ワクチンとしての応用可能性について最新知見を交えて紹介する。

主催： JSPS 研究拠点形成事業 Core-to-Core Program
「ウイルスの二面性の理解・活用のための国際研究拠点形成」
共同利用・共同研究拠点「ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点」

世話人：京都大学医生物学研究所: ウイルス制御分野 橋口隆生 (Tel:075-751-4049)